

備前市事務事業評価シート

(平成21年度事業)

事業の概要				根拠法令・例規等		
事業開始年度		昭和17年～				
総合計画	大項目	基本目標	01	安全で快適に暮らせるまちづくり	問	
	中項目	基本施策	04	安全で安心に暮らせるまちづくり		担当課(室)
	小項目	施策	03	安全・安心な環境の高揚		市民課
事務事業名		02	防犯施設整備事業	合先	職・氏名	
				電話	生活安全係長 初治 慎一	
				このシート作成に要した時間	0869-64-1876	
				2.5 時間		

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	国道2号線及び250号線のスポンサー付の水銀灯及び日生地内の防犯灯
目的(何のために)	犯罪の発生を抑制するために設置した防犯灯などの維持管理をする。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	日生地内の防犯灯は、市と町内会の維持管理している防犯灯の位置を明確し、今後の管理を検討する。

事業の実績			
細事業名	事業の説明	優先度	
目的を達成するために実施した事業	防犯灯管理事業	昭和56年頃に設置した国道2号線のスポンサー付の水銀灯は、国土交通省の工事の支障時に占用廃止届けより撤去する。国道250号のスポンサー付の水銀灯は、球切れ時に市で交換している。日生地内の防犯灯は、市の管理している防犯灯と町内会が管理している防犯灯の設置図を整備し、今後の管理を検討する。	

事業費等		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績
決算額	事業費	千円	1,864	2,385	2,128
	必要人員		1.17人	0.12人	0.15人
	必要作業費		1,287	1,112	1,492
	事業費計		3,151	3,497	3,620
財源	国	千円			
	県				
	支出金				
	受				
利益者負担	繰	千円			
	入				
	金				
	他				
一般財源	源	千円			
	受				
利益者負担比率		%	-	-	-

結果指標名		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績
結果指標	電気料金支払灯数	説明	日生地区の防犯灯の電気代		
	結果指標量	事業	182	182	182
	対前年比	%	-	100.0%	100.0%
	活動コスト	円	3,151,664	2,611,657	2,266,740
	単位当たりコスト	円	17,317	14,350	12,455

事業の成果		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度目標値
成果指標名	目標値(A)	100	100	100	150
	実績値(B)	182	182	182	到達目標値
	達成率(B/A)	182.00%	182.00%	182.00%	23年度

成果指標設定の考え方・式や説明

市が電気料金を支払っている防犯灯の数

事務事業の評価		妥当性評価 <A-E>
妥当性の評価	市の関与の妥当性	C
	市民ニーズ	
効率性の評価	コスト	C
	手段	
有効性の評価	目的達成度	B
	市民参画度	

進行年度(H22年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	日生地内の防犯灯は、市管理と町内会管理の防犯灯の設置図面を作成し、管理不明な防犯灯を無くし、今後の防犯灯管理について関係団体(市民課、都市整備課、日生総合支所)で協議する。					

総合評価		評価区分 <A-E>	有効性
防犯施設の整備は、安全安心の観点から、犯罪発生を未然に防ぐために重要であるが、市と地域の役割分担を構築し、地域の自主管理の推進による効率化を図る必要がある。		C	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> A C B </div>

平成23年度の方向性及び取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
取組目標	今後の防犯灯の取り扱いについて検討し、市が管理している防犯灯数の削減をしていく。					

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性の評価を行って下さい

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい

留意事項
事業の目的やその数値目標を定めることにより、その数値目標を達成できなかった場合、評価が低くなる可能性がある。